

厚生連佐久総合病院と市立国保浅間総合病院における
各診療科の連携構築に関する基本的方向

1 内科

- 病院の現状認識
 - ・ 双方とも手一杯であり、現状を維持することしかできない状況
 - ・ 今後、双方の病院が、一層の病院機能や本来の連携を果たすためには、開業医の先生方の協力が不可欠
- 総合診療科の患者のエリア別の検討
 - 佐久市北部 市立国保浅間総合病院
 - 佐久市南部 厚生連佐久総合病院
- 救急 一次・二次対応の救急センターの必要性の検討
(佐久総合病院基幹医療センターが三次医療に専念するために)
 - 佐久市北部担当：浅間総合病院
 - 佐久市南部担当：佐久病院地域医療センター
 - かかりつけは担当病院とする

2 外科（小諸厚生病院外科も含めて）

- 浅間・佐久両病院の現状の認識
 - 緊急手術への対応は困難が生じてきている。また、手術関係スタッフに過剰負担がかかり、手術室の安全が危機的な状況である。
- 救急患者の対応
 - ・ 佐久総合病院、浅間総合病院、小諸厚生病院との関係で搬送先を決定するシステム作りの必要性
 - 佐久病院外科が窓口となり、対応できない場合に浅間病院外科、小諸厚生病院外科に相談できる体制を構築した
- 外科医研修医の教育体制の検討
- 地域の外科医が定期的に話し合う機会が必要

3 脳神経外科（小諸厚生総合病院も含めて）

佐久総合病院、浅間総合病院による検討

- 血管内治療の連携について検討を始める
- 今後、勉強会のようなもので検討

4 その他の科の状況

- 従来通りの連携の維持を確認 歯科、耳鼻科、形成外科、糖尿病科、眼科
- 近日中に話し合う予定 小児科、整形外科